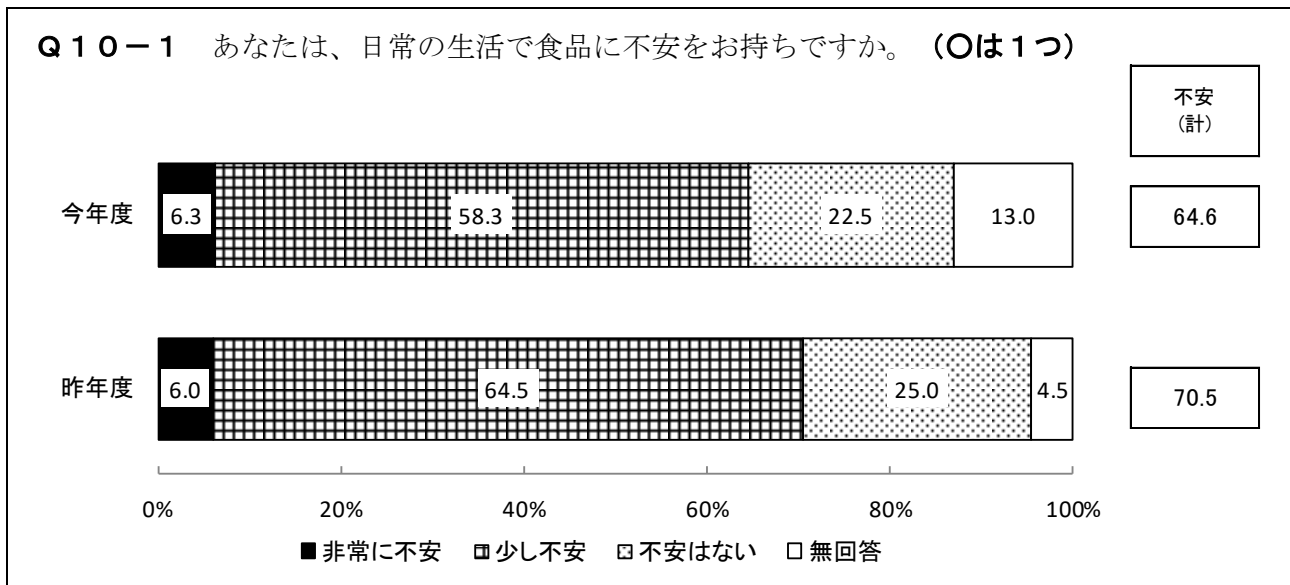


10. 食の安心・安全について

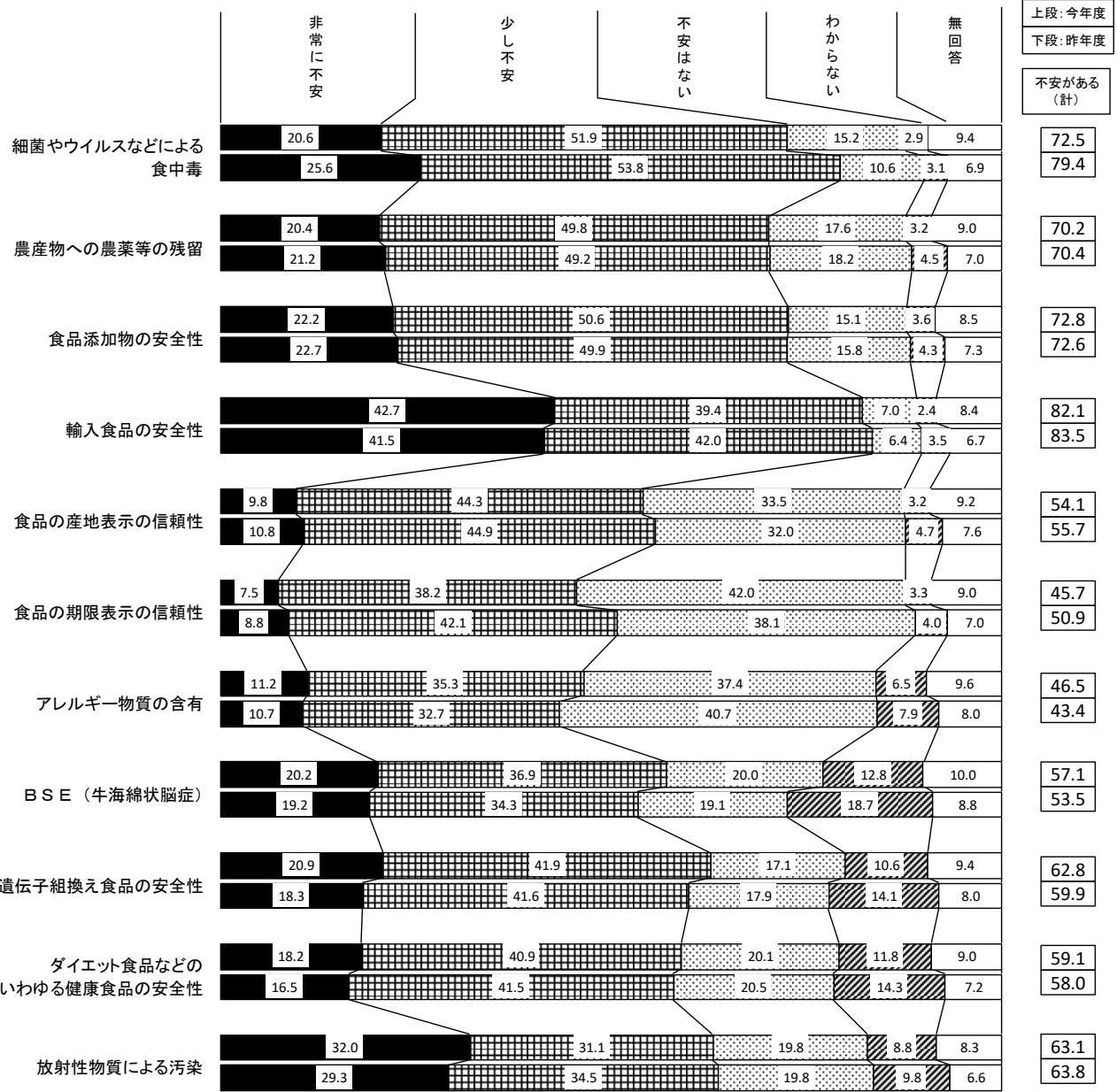
10-1. 食品に対する不安



食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安 (計)』は64.6%と6割を超えている。昨年度と比較すると、『不安 (計)』は5.9ポイント低下している。

10-2. 食品に対する不安の要因

Q10-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。
 いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

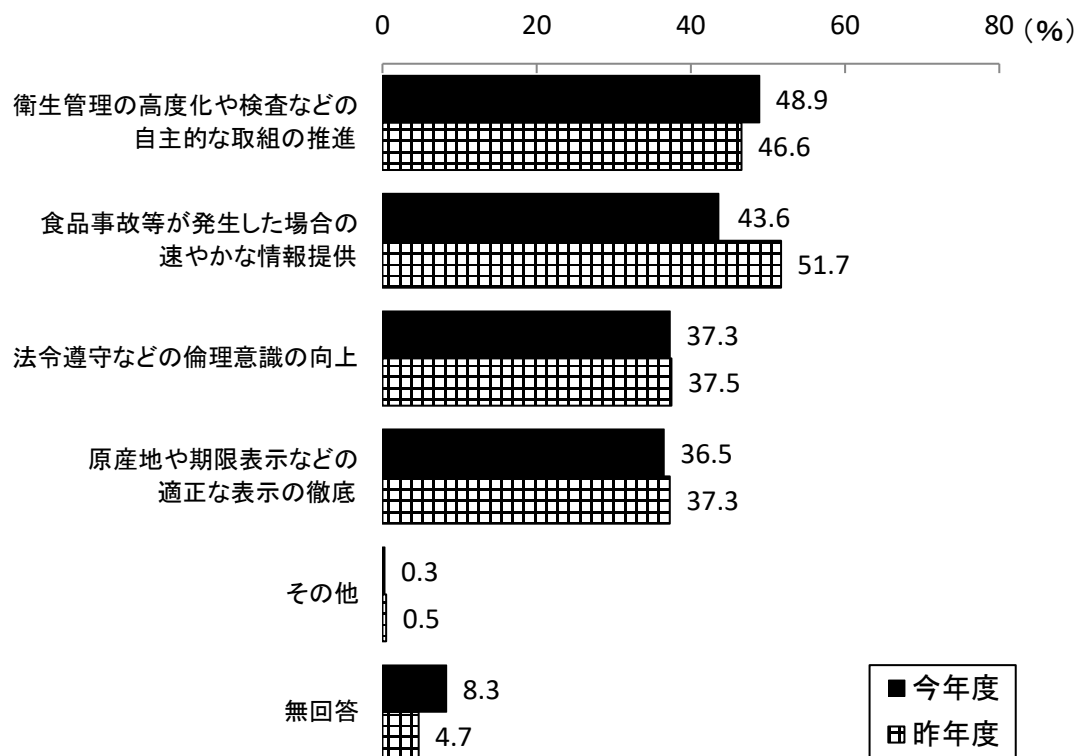


食品に対する不安の要因について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は、「輸入食品の安全性」で82.1%と最も高くなっている。昨年度と比較すると、「細菌やウイルスなどによる食中毒」は6.9ポイント、「食品の期限表示の信頼性」は5.2ポイント『不安(計)』が低下している。

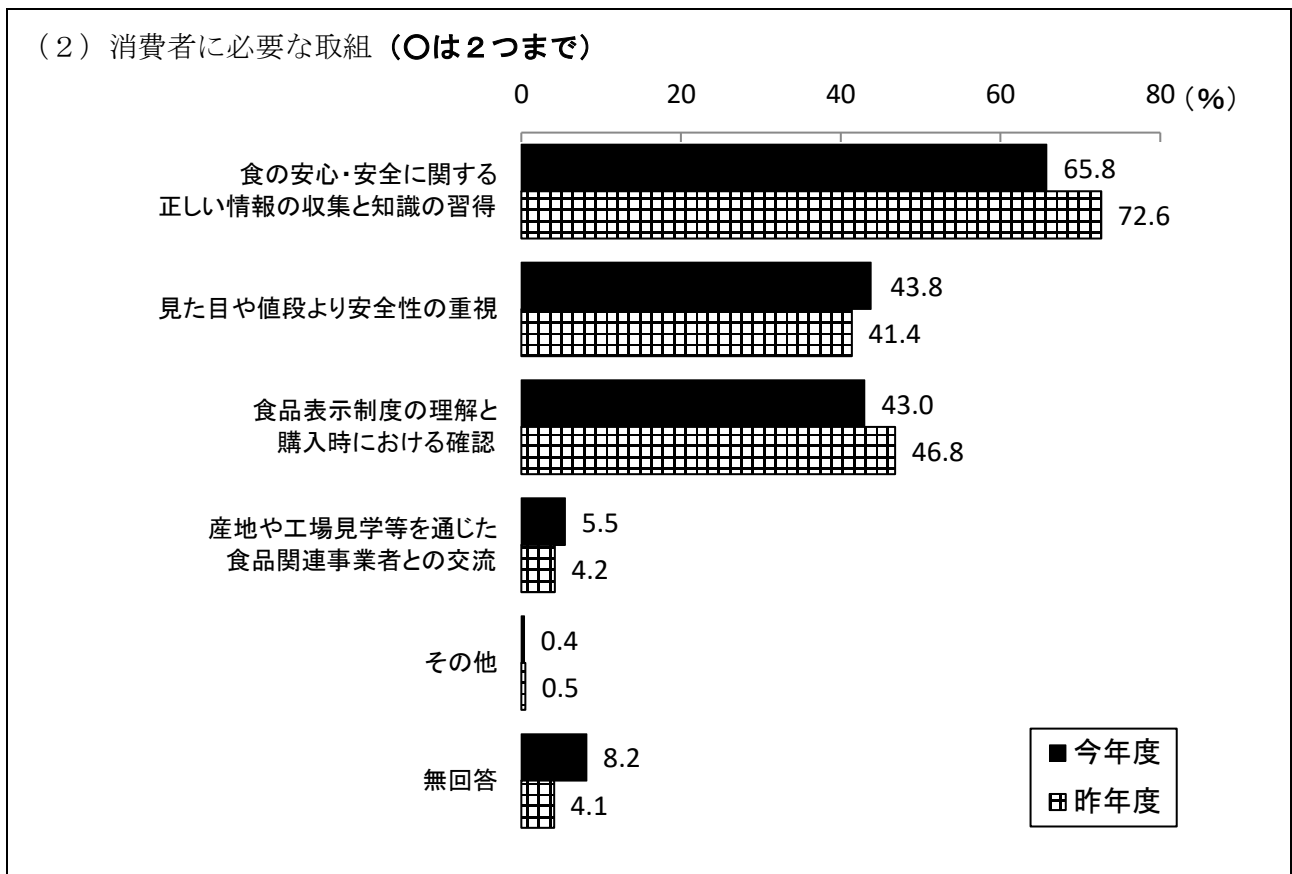
10-3. 安全で安心な食生活を送るために必要な取組

Q10-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

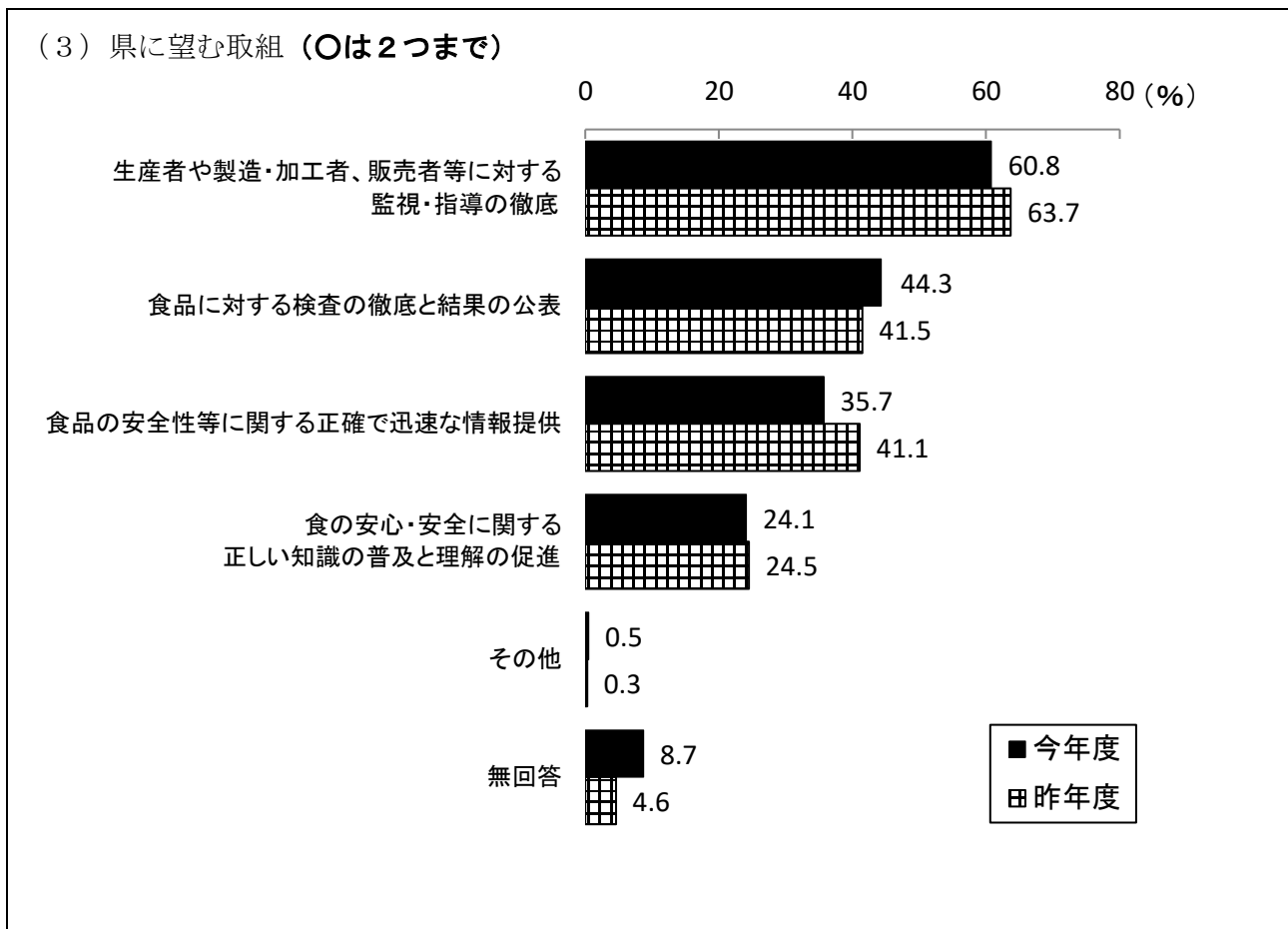
(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は2つまで)



安全で安心な食生活を送るために「食品関連事業者」に望む取組について、「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」が48.9%と最も高く、次いで「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が43.6%、「法令遵守などの倫理意識の向上」が37.3%、「原産地や期限表示などの適正な表示の徹底」が36.5%の順となっている。昨年度と比較すると、「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」が2.3ポイント上昇し、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が8.1ポイント低下している。



安全で安心な食生活を送るために「消費者」に必要な取組について、「食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得」が65.8%と最も高く、次いで「見た目や値段より安全性の重視」が43.8%、「食品表示制度の理解と購入時における確認」が43.0%、「産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流」が5.5%の順となっている。昨年度と比較すると、「見た目や値段より安全性の重視」が2.4ポイント上昇している。



安全で安心な食生活を送るために「県」に望む取組について、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が60.8%と最も高く、次いで「食品に対する検査の徹底と結果の公表」が44.3%、「食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供」が35.7%、「食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進」が24.1%の順となっている。昨年度と比較すると、「食品に対する検査の徹底と結果の公表」が2.8ポイント上昇している。